

第 125 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	前払金	仮払金	貸付金
支払手形	買掛金	当座借越	貸倒引当金
前受金	仮受金	所得税預り金	借入金
資本金	売上	受取手数料	有価証券売却益
受取利息	仕入	給料	租税公課
支払利息	有価証券売却損	手形売却損	損益

- 仕入先鳩山商店から商品 600,000 円を仕入れ、代金のうち 250,000 円については小沢商店振出し、谷垣商店受取りの約束手形を裏書譲渡し、200,000 円はかねてより売掛金のある得意先岡田商店を名宛人、鳩山商店を受取人とする為替手形（引受済）を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 営業用店舗の固定資産税 180,000 円と事業主の所得税 240,000 円を現金で納付した。
- 出張中の従業員から当座預金口座に振り込まれ、仮受金として処理していた 180,000 円は、得意先木村商店から注文を受けたさいに受領した手付金 50,000 円と、得意先篠原商店から回収した売掛代金 130,000 円であることが判明した。
- 損益勘定の記録によると当期の収益総額は 3,500,000 円で、費用総額は 4,200,000 円であった。この差額を資本金勘定へ振り替える。
- かねて売上代金の一部として受け取っていた得意先振出しの約束手形 350,000 円を取引銀行で割り引き、割引料 10,000 円を差し引かれた手取金をただちに当座預金口座に預け入れた。なお、当座借越勘定は 100,000 円の貸方残高となっている。